内海ITU事務総局長

ジュネーブ便り

（2002年2～3月）

◎2～3月の事務総局長の主な動向

2月11日　Palexpo増設ホールの棟上式（ジュネーブ）

ジュネーブが誇る国際展示場Palexpo（http://www.palexpo.ch/）の増設ホールの棟上式が、ジュネーブ政府関係者の出席するなか行われました。Palexpoは、毎年、世界モーターショーが開催されている会場でもあり、2003年の世界ITUテレコム2003の会場にもなります。今回の増設は、世界ITUテレコム2003の開催に備えるために行われたもので、現在の展示場スペースの90,000㎡に、さらに21,000㎡の増設ホールが追加されます。

世界ITUテレコム2003に多くの出展者および入場者が来られることを期待しています。

2月18日　ITU理事会財政規則ワーキンググループ第2回会合（ジュネーブ）

1998年ITU全権委員会議での財政上の取り扱いや手続きに関する決議などに基づいた財政規則の改正案文を議論するITU財政規則ワーキンググループを開催しました。財政規則の改正のほかに、ITUリフォームのなかで財政に関する項目についても議論しました。

2月20日　世界情報社会サミット各国政府代表部非公式コンサルテーション会合（ジュネーブ）

2003年および2005年に開催する世界情報社会サミットに向けて各国政府間のコンサルテーションを行う会合を、サミット開催国であるスイスおよびチュニジアのイニシアティブで開催しました。同会合では、サミットの準備プロセスおよびサミットへの民間団体および市民団体の参加方法などを議論することとして、今後毎月1回のペースで開催していく予定です。また、具体的な検討をリードするために、世界5地域を代表する国々で構成するビューローを今後設置することとなりました。

昨年末の国連総会での決議採択以降、各国政府の積極的な関与が目立ってきました。

2月21～22日　WorldTel会合出席および英国電波庁長官訪問（英国、ロンドン）

デジタル・デバイド解消のために途上国の電気通信事業に融資することを目的としてITUが主導して1996年に設立された民間会社WorldTelの評議会に参加しました。評議会では、WorldTelに出資している各会社の要人が集まる会合のため、各国での電気通信状況などをめぐり意見交換ができ、現状が把握できる良い機会となりました。

また、英国電波庁長官Mr.Hendon氏との面会では、現在英国議会で検討が進められている通信・放送両分野を監督する単一の規制機関（OFCOM）の設置について意見交換を行いました。

2月25日～3月1日　ITU無線通信アドバイザリーグループ；RAG（ジュネーブ）

ITU無線通信局の主要な活動や財政事項について議論するITU無線通信アドバイザリーグループを開催しました。2003年に開催するITU世界無線通信会議に向けた準備プロセス、他の標準化機関とITU無線通信局との連携などが議論されました。

2月28日　欧州競争的電気通信協会（ECTA: European Competitive Telecommunications Association）の年鑑出版記念式への出席（フランス、ニース）

電気通信の自由化および競争政策の推進を支援し、主要な政府および国際機関に産業界の意見を反映させることを目的として、300以上の欧州のメーカーおよび事業者で構成されている欧州競争的電気通信協会（ECTA）の年鑑にメッセージを寄稿しました。この年鑑が出版されるに当たり、出版記念式に参加し、ECTA各会員と欧州の電気通信事情などについて意見交換を行いました。

3月7～8日　ITU理事会戦略計画非公式会合（ジュネーブ）

今年9月から10月にかけて開催するITU全権委員会議で採択する2003～2007年ITU戦略計画の案文を作成するための非公式会合を開催しました。ITU戦略計画は、無線、標準化および開発の各セクターの運営計画と財政計画とも連携して、将来のITUの活動指針となるべき重要なものです。将来のITUの発展を考慮した各国代表団からの提案を基に、電気通信の発展のためのメンバーシップおよび関係機関との連携拡充、国際間の情報格差の解消、技術革新・グローバル化・民営化・競争などに関してメンバーシップへの情報およびノウハウの提供拡充などITUが今後重点的に取り組むべき課題を明示したITU戦略計画案をまとめました。